

国際シンポジウム

中国における

歴史の資源化

——その現状と課題に関する人類学的分析

〔日時〕 2016年10月22日 土

10時～17時30分

〔場所〕 国立民族学博物館第4セミナー室

〔定員〕 70名（参加無料 事前申込要）

〔主催〕 国立民族学博物館



国際シンポジウム

中国における 歴史の資源化

—その現状と課題に関する人類学的分析

現在の中国では歴史がさかんに資源化されている。

中華民族の一体性の構築をはじめとする政治目的に活用されたり、観光開発による実利の獲得、アイデンティティの構築に利用されたりと、多様な目的と形態で進行している。

本シンポジウムは、中国において歴史がいかに資源化されているのかについて、民族英雄、史跡・景観・文物、記憶・記録・伝承といった問題領域に分けて、政府・知識人・民衆等の諸主体の役割、諸民族の文化との関わりに留意しながら、人類学的立場からその現状を明らかにし、内包する課題について展望を得る。



10:00~10:10 館長補佐挨拶 寺田吉孝 (国立民族学博物館)

10:10~10:20 主旨説明 塚田誠之 (国立民族学博物館)

1. 「民族英雄」とその資源化 司会：塚田誠之

10:20~10:50 報告1 「岳飛の社会記憶とその資源化——杭州岳廟を中心に」 韓敏 (国立民族学博物館)

10:50~11:20 報告2 「一带一路構想の中での「鄭和」言説——中華民族の英雄か、回族の英雄か」
松本ますみ (室蘭工業大学)

11:20~11:35 コメント 長谷川清 (文教大学)、兼重努 (滋賀医科大学)

11:35~11:45 質疑応答

2. 史跡・景観・文物の資源化 司会：河合洋尚 (国立民族学博物館)

13:00~13:30 報告3 「中国の近年の古村落の保護と開発——桂林を例として」 廖国一 (中国広西師範大学)

13:30~14:00 報告4 「烈士陵园の景観——南部と北部の記念碑の比較から」 高山陽子 (亜細亜大学)

14:00~14:15 コメント 松岡正子 (愛知大学)、長谷千代子 (九州大学)

14:15~14:25 質疑応答

3. 記憶と記録・伝承の資源化 司会：韓敏

14:40~15:10 報告5 「ハニ=アカ族の記憶と記録」 稲村務 (琉球大学)

15:10~15:40 報告6 「中国朝鮮族の再移動と移住史の資源化——「百年部落」をめぐる伝統文化の再構築」
権香淑 (大阪経済法科大学)

15:40~15:55 コメント 藤井真湖 (愛知淑徳大学)、上野稔弘 (東北大学)

15:55~16:05 質疑応答

4. 総合討論 司会：塚田誠之

16:30~17:30 コメンテーター 大野旭 (静岡大学)、横山廣子 (国立民族学博物館)、
蔡志祥 (香港中文大学、国立民族学博物館外国人研究員)、廖国一、曾士才 (法政大学)

<申込方法> 「中国シンポ参加希望」というタイトルにて、ご氏名・ご所属・ご役職を記入のうえ、
塚田研究室 (tsukada@idc.minpaku.ac.jp) まで電子メールにてお申込みください。

プログラム

*発表等はすべて日本語で行われます。

国立民族学博物館 National Museum of Ethnology

●開館時間…………… 10:00 ~ 17:00(入館は 16:30 まで) ●休館日…………… 水曜日(水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)

●観覧料…………… 一般 420 円/高校・大学生 250 円/小中学生 110 円

*観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

交通のご案内

●大阪モノレール… 「万博記念公園駅」徒歩約 15 分
*自然文化園窓口で、当館の観覧券をお買い求めください。
*同園内を無料で通行できます。

「公園東口駅」徒歩約 15 分

*自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。

●バス…………… 阪急茨木市駅・JR 茨木駅から「万博記念公園駅(エキスポ

シティ前)」・「日本庭園前」下車徒歩約 13 分

●乗用車…………… 万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約 5 分

*「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。

[大阪・万博記念公園]
〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10番1号
研究協力課国際係
Tel:06-6878-8235 Fax:06-6878-8479
www.minpaku.ac.jp/

